



体育館に近づくと聞こえてくるにぎやかな声。「さあ、始めるぞ!!」そんな声もかき消されてしまうほど、子供たちは元気に体育館を走り回っています。まだまだボールには慣れていないので、練習は柔らかいソフトバレー用のボールを使ってキャッチボールやパスから始めます。子ども同士ではゲーム形式の練習ができないため、大人二人を相手に大量ハンデ23点!?をもらい、本物の硬いボールでいざ勝負! バレーボールをこよなく愛する指導者たちに囲まれ、子どもたちは未知なるバレーボールの世界へと、まだ小さな一歩を踏み出したばかりです。

昨年の7月からスタートした多古町ジュニアバレーボールクラブは、町で初めて開催されたジュニアバレーボール教室をきっかけに立ち上げられました。そもそもこの教室は、野球やサッカー、バスケットボールのように、小学校でバレーボールを経験する機会がないことを憂いた、体育協会バレーボール部メンバーの熱い想いにより実現しました。一度体験してもらおうことが目標なので、ほかのスポーツ

サークル CIRCLE ZUKAN 鑑

第25回 バレーボールサークル 『多古町ジュニアバレーボールクラブ』

- ①活動歴 1年
- ②年齢層 小学4～6年の男女
- ③活動場所 町民体育館
- ④活動時間 毎週水曜日、19時～21時
- ⑤代表者 高岡義久(たかおかよしひさ)
- ⑥連絡先 ☎(76)3151

クラブに所属していても参加できるよう、子どものクラブには珍しく夜の活動としています。指導に当たるのは、もちろん体育協会バレー部の皆さん。参加してみても、自分に合っていないか辞めてもいいし、楽しいと思えば続けてもらいたいと考え、とにかく「バレーボールの楽しさを体験してもらいたい」そんな気持ちで

子どもたちと接しています。

時には高校生や中学生とも一緒に練習する機会もあり、この交流がとてもいい経験になっています。3月にクラブを卒業した子の中には、中学校でバレー部に入部を希望している子も。そんな話を耳にすると「正直嬉しいです。でも、このクラブに入ったら必ずバレー部に入部しなくてはいけない、という雰囲気は作りたくないんです」と高岡さん。あまり経験がなくても、大人になってからでも楽しむことができるバレーボール。テレビでカッコイイ選手がいたとか、運動不足だからとか、どんなきっかけでもいいのです。ただ今メンバー募集中!! 皆さん、一度体育館に遊びに来てみませんか?



編集後記

★6月を迎えました。今年も折り返し地点に到達です。新年のご挨拶をしたのは、つい先日のような…。毎年確実に、時の経つのが早くなっています★6月と聞いて、真っ先に思い浮かぶのは梅雨。雨が降り続いて外出できない、家の中もジメジメしていて鬱陶しいなど、ほとんどの人が梅雨に対し、マイナスのイメージをお持ちでは?★雨は広報がせたこの編集後記で何度も書いています。実はこのだけの話、個人的には雨の日が好きなんです。特に、ほんやりと窓の外を雨を眺めるのが…。ポツリポツリと小さな水溜りへ広がる波紋。サアーツと優しく叩かれる若葉。白く霞む遠くの山や林。どれも、子供の頃から大好きな梅雨の景色です★恵みの雨。降らないと、農作物の干害や飲料水不足にも悩まされます。とはいえ、大雨でがけ崩れや洪水などの災害になっても困ります。何事も、程ほどがいいんですよ★梅雨前線さんへ。広報の取材中は、どうか降らずにがんばっててください!!

★今月はニユーランド一色。多古弁に踏襲された英語がところどころで押し出されてしまった私。言いたいことが言葉にならないもどかしさ。★思い出すのは10歳の頃、デイズニラランドに行きたい一心でアメリカへ。祇園の夜に羽田を出発し20時間後、到着したのは同じ日の夜。行き交う人はみんな外人。それから20日間、昼も夜も泣いて過ごした日々★一人でホームステイする私に、唯一多古町から参加したAさんがくれたアドバイスは「相手の目を見ていれば、何が言いたいかきつとわかる」。これは本当だった。滞在中私が「イエス」「ノー」以外に発した言葉は「ホットドッグ」のみ。サンドウィッチとどちらがいいか聞かれて答えた一言★後にこの経験が活きてきた!?チャンスに恵まれながらも友達と遊びたいとアメリカ行きを拒んだ兄が、高校の時この英文という意味?と聞いてきた。この経験が成績の明暗を分けたことは言うまでもない…。